授業科目　コーディネート論

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	看護
金谷　光子	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GIO】

保健医療福祉に携わるものとして、特に基本となる生命および人権の尊重について焦点を当て、自他の命や人権を深く考えられるような態度を育む。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．人の命をどのように受けとめているのかについて、自己の考え方を述べることが出来る。
2．命の倫理に関して、現在社会で起こっている状況について列挙できる。
3．保健医療福祉における命の倫理に関わる諸問題について説明することが出来る。
4．事例を通して、自己の考え方を述べることが出来る。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	命とは・倫理とは：現代社会のトピックスを通して		講義
2	命の倫理に関する様々な諸問題（脳死・臓器移植・インフォームド・コンセント等）		講義
3	保健医療福祉における命の扱われ方：安楽死問題について		講義
4	代理母について		講義
5	児童虐待のメカニズムと専門家の関わりについて		講義
6	あらためて保健医療福祉における倫理とはなにか		講義・演習
7	ディベート		講義・演習
8	まとめ		テスト

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	医療現場に臨む哲学	清水哲郎	勁草書房	1997・2,400円＋税
	テーマ30　生命倫理	大谷いづみ	教育出版	2008・857円＋税
	自己決定の倫理と「私たち」の自由	小柳正弘	ナカニシヤ出版	2,400円＋税
	医療現場に臨む哲学	清水哲郎	keiso syobou	2006・2,200円＋税
その他の資料				

【評価方法】

出席および発言20点
テスト80%

【履修上の留意点】

授業最終日、テストとして、800時以内で命の倫理に関する自己の見解を書く。